

◇ 技術分野（令和6年度版シラバス） ◇

(ア) 授業の約束 **【<sup>ほんじてってい</sup>凡事徹底**】

● チャイム前の着席を	● 身の回りの整理整頓を	● 礼儀正しい挨拶を
● 人の話は、顔を上げて	● 発言は挙手をしてから	● 提出物は期限厳守
● 実習の服装は、ジャージで	● 片付け・清掃は全員で	● “みんなの授業”という意識を

(イ) 持ち物（3点セット）

- 教科書（技術分野）・ハンドノート（1年、3年）・授業ノート（1年）・ファイルの3点セットは、常に用意する。
- その他必要なものについてはその都度連絡します。

(ウ) 定期考査について

- 1・2学期期末考査、3学期学年末考査のみ実施します。1・2学期中間考査は実施しません。
- 各定期・学年末考査では、【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体的に学習に取り組む態度】の3観点に関する問題が出題されます。
- 教科書・ハンドノート（授業ノート）からだけでなく、授業で使用したワークシートからも出題します。
- テスト後にワークシートなどを回収することが多いです。ワークシートは必ずファイルで管理して、紛失しないように心掛けましょう。

(エ) 日々の学習について

- 授業で学んだことを、日々の日常生活で生かしてもらえると嬉しいです。
- テレビや新聞などのニュースに関心を持ち、「自然環境・環境問題」「資源やエネルギー」「日本の技術革新」等に関する記事については普段から関心をもっていると学校での授業がより深まります。
- 夏休みに発明創意くふう展に出展する作品を1点制作してもらいます（令和5年度は家庭科の宿題）。早いうちから構想を立て、考えておくとういでしょう。

(オ) 学習内容【第1学年 技術分野】

時間 25/35	学習 内容	題材名	学習のねらい
3	ガイダンス	1. オリエンテーション① 2. オリエンテーション② 3. オリエンテーション③	○ 技術分野の学習内容に理解する ○ ものづくりに込められた思いを知る。 ○ 安心・安全な作業に向けて主体的に考える。
2	A 材料と加工	1. 生活や社会を支える材料と possible の技術 2. 身の回りにある材料と加工の技術	○ 材料と加工の技術が生活や社会で果たしている役割に気づく ○ 材料と加工の技術に関する製品に込められた工夫やしぐみ調べ。
2		1. さまざまな材料と加工の技術 2. 木材の材料と加工の技術 3. 金属の材料と加工の技術	○ 身の回りの製品に利用されている材料の種類と加工方法を知る。 ○ 木材の性質を利用した、材料と加工の技術を知る。 ○ 金属の性質を利用した材料と加工の技術を知る。
1		1. 構造をじょうぶにする技術	○ 製品をじょうぶにするための形状や構造を知る。
4		1. 製図	○ 製作品を図に表す方法を知る。 ○ 構想図や製作図を正しくかき表すことができる。
12		1. 問題解決の流れ 2. 問題の発見と課題の設定 3. 設計	使用教材  身の回りの整理するもの
	1. 材料取りと部品加工 2. 組立てと仕上げ	○ 材料取りと部品加工に必要な作業の役割と方法を知る。 ○ 正確に材料取りと部品加工ができる。 ○ 木材の組立てと仕上げをする工具や機器の使い方を知る。 ○ 正確に組立てと仕上げができる。	
1		1. 材料と加工の技術の学習を振り返ろう 2. 材料と加工の技術と私たちの未来	○ 材料と加工の技術での学習をふり返り、技術の見方・考え方について確認する。 ○ 材料と加工の技術を評価し、適切な選択と管理・運用のあり方や、新たな発想に基づく改良と応用について考える。

※10/35 時間は、A『材料と加工の技術(未学習部分)』B『生物育成の技術』・C『エネルギー変換の技術』  
D『情報の技術(1-4 情報セキュリティと情報モラル)』を取り扱います。内容は、未定です。